

総会懇親会に国土交通大臣の 臨席を賜る

令和元年5月16日に東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で開催した「PC建協第7回定時総会」の懇親会に石井啓一国土交通大臣のご臨席を賜り、約500人が出席する中、ご挨拶を頂戴いたしました。当日は徳山日出男政策研究大学院大学客員教授の「生産性革命と建設業の未来」これからのビジネスモデル」と題した特別講演も催されました。



▲懇親会で登壇する石井大臣

佐藤のぶあき氏 参議院議員 選挙(比例代表)三選

令和元年7月21日に行われた第25回参議院議員通常選挙(比例代表)で佐藤のぶあき氏(元国土交通事務次官)が23万票を超える上位当選を果たしました。今回で三選です。

7月23日に藤井敏道PC建協会会長が佐藤議員事務所へ表敬訪問した際に三選のお祝いを申し上げました。

発注者との意見交換会始まる

5月17日開催の国土交通省道路局との意見交換会を皮切りに、7月下旬より全国10カ所において発注者(各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局)との意見交換会を行っています。

これまで、沖縄総合事務局、九州地方整備局、北海道開発局、近畿地方整備局、中国地方整備局との意見交換会が終了しました。9月から10月にかけて残り5カ所の意見交換会を順次開催する予定です。

また東、中、西日本高速道路株式会社3社との意見交換会も開催する予定です。

《PC建協からの提案》

- ①年度工事量の安定的な確保
- ②働き方改革の推進
 - ・週休2日モデル工事の検証と課題への対応
- ③生産性向上の推進
 - ・プレキャスト化の推進
 - ・ICT活用の推進
- ④インフラ長寿命化への対応
 - ・設計者と施工者が連携したPC橋保全補修工事の試行(建コン協とPC建協の共同検討)
 - ・地方自治体支援に向けた工事発注形態の検討



▲北海道開発局との意見交換会

学会賞・功労表彰 受賞

●平成30年度土木学会賞 田中賞
業績部門 長尾 徳博氏



▲土木学会 田中賞
長尾 徳博氏

(株)富士ピー・エス顧問。機械化施工の研究・開発によるコンクリート橋梁建設技術の近代化への貢献に対し本賞が授与されました。長尾氏はPC建協会長を2年、副会長を5年歴任いただきました。

●令和元年度建設事業関係功労表彰
(国土交通大臣表彰) 藤田 公康氏



▲建設事業関係 功労表彰
藤田 公康氏

極東興和(株)代表取締役社長。多年にわたりPC工事業に精励するとともにPC建協の理事として業界の発展

に寄与してきたことに対し本賞が授与されました。

藤田氏は昭和61年にPC建協理事に初めて就任以降、業務による一時中断をはさんで、今日まで従事いただいています。

第27回PC建築技術講習会を開催

令和元年6月28日に港区の建築会館大ホールで「第27回PC建築技術講習会」を開催しました。今年は東京会場(主会場)の映像と音声を大阪会場(AP大阪梅田茶屋町)に加え、名古屋会場(名古屋駅オフィスパーク名駅プレミアホール403)にも同時配信し、過去最多の505人の参加がありました。

各講習の建築物、講師、演題は次の通りです。

①鏡野中学校武道館およびプール施設等

「PCaPC工法による中学校体育施設」

鈴江章宏建築設計事務所 鈴江章宏 (Structural NET) 揚原茂雄

②横浜市立子安小学校

「PCa部材とRC部材を組み合わせた校舎の一事例」

(株)山本理顕設計工場 玉田誠、(株)構

造計画プラス・ワン 早稲倉章悟

③TDKテクニカルセンターW2棟
「ワークプレイスの機能性・快適性・柔軟性を高める意匠・構造・設備を統合したオフィスシステム」
(株)山下設計 建築設計部門 大植哲、技術設計部門 堀米里史

④NIPPPO本社ビル
「立地特性と意匠・構造が融合した建築・構造計画」
(株)日本設計 建築設計群 楯列哲也、構造設計群 中村伸



▲ 盛況だったPC建築技術講習会

第9回PC建協業務報告会を開催

令和元年7月18日にホテルグランドアーク半蔵門で「令和元年度第9回PC建協業務報告会」を開催しま

した。当日は各支部での活動模様のパネル展示も行われ、発注者、会員企業、賛助会員企業など200人以上と例年以上の参加がありました。業務報告会では東川直正国土交通省大臣官房技術審議官の祝辞に続き、PC建協から次の発表を行いました。

- ① PCプレスの紹介
- ② Uコンボ桁の試設計について (中間報告)
- ③ 道路橋の耐久性の信頼性向上のための構造細目や仕様に関する共同研究
- ④ 橋梁管理データベースの活用
- ⑤ 労働安全衛生支援システムについて

その後、田村央国土交通省道路局企画課道路経済調査室長の「国土強靱化に資する道路行政の取組」と題した特別講演を行いました。



▲ 挨拶する東川技術審議官

各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催され、講師を派遣しました。

(関西支部)

令和元年7月22日に大阪市淀川区の(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構大阪支社で行われた「技術講習会」で同機構の技術職員約50人を対象にPCに関する講義を行いました。主なテーマは「PC橋概論と最近の話題」、「PC橋の設計演習」、「コンクリート構造物の補修・補強技術」でした。

(四国支部)

令和元年6月3日に徳島市の四国クリエイト協会徳島支所で行われた「近年のPC橋の設計・施工」でクリエイト協会員24人を対象にPC技術の講習を行いました。当日は実例の写真を掲載したプレゼンテーション資料を使用して片持架設工法など施工の知識を講義しました。

(その他)

- ・ 関東支部 茨城県建設コンサルタツツ協会会員(5月17日、6月7日)
- ・ 北海道支部 北海道建設コンサルタツツ協会会員(7月22日)

PC技術専門家派遣事業を 展開

PC建協では学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的に各地区でPC技術専門家派遣事業を展開しています。

(北海道支部)

令和元年7月11日と18日の2日間、土木技術会コンクリート研究委員会との共催で北海道科学大学工学部の3年生約40人に講義を行いました。講義ではPCの概要と構造などの説明に加えて、担当教官の要望に基づいて土木技術者資格の概要や傾向と対策などについて解説しました。

(北陸支部)

令和元年6月11日に新潟県長岡市



▲長岡技術科学大学での講義の様子

の長岡技術科学大学工学部環境社会基盤工学課程の3年生66人に「PC橋の概要」と題した講義を行いました。

講義では、PC建協の紹介、PC橋の概要とプレキャストコンクリートの説明、PC構造物の紹介のほか、模型でPC橋の仕組みを説明しました。

そのほか令和元年6月以降に実施したPC技術専門家派遣事業は次の通りです。

開催日	支部名	学校名
6月11日・18日	九州	九州大学大学院工学研究院
6月24日・27日	関東	日本大学生産工学部
6月28日・7月5日	関東	信州大学工学部
7月8日・9日・12日	関東	東京都市大学工学部
7月10日・17日	関東	東洋大学理工学部
7月10日	九州	九州工業大学工学部
7月11日・18日	北海道	北海道科学大学工学部
7月12日	関東	東京電気大学未来科学部
7月17日	北海道	北見工業大学工学部
7月18日	九州	宮崎大学工学部
7月22日	九州	佐賀大学理工学部
7月22日	九州	琉球大学工学部
7月24日	関東	日本大学理工学部
7月25日	北海道	室蘭工業大学理工学部
7月26日	関東	木更津工業高等専門学校環境都市工学科
7月26日	関東	足利大学工学部

令和元年度EE東北'19に出展

建設事業の新材料や新工法などの展示会「EE東北'19」が令和元年6月5日～6日の2日間、仙台市の夢メッセみやぎで開催されました。29回目を迎えた今年は過去最多の1万6500人の来場がありました。今年もPC建協東北支部が共催する「高校生『橋梁模型』作品発表会」に入賞した12校の作品の展示コーナーも設けられました。同支部も「インフラ整備・維持に寄与するPC技術」と題してブース出展しました。このほか「ドローン(UAV)競技会」が開かれ、計15チームが空撮技術、計測技術、飛行操縦技術を競う様子を延べ2000人が観戦しました。

【中部支部】

現場見学会を開催

令和元年5月14日に岐阜県本巣市の(株)安部日鋼工業岐阜本巣工場内での工場見学会を開催しました。この見学会は大同大学の学生9人を対象に行ったものです。当日は生コン打設やピョンピョン板を製作するなどの体験や、PC桁載荷試験、PC桁配筋現場、PC床版の見学を行いました。学生たちは自分たちで製作したピョンピョン板を大学へ持ち帰り、後日

の授業で使用したとのことでした。

第28回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム―設立60周年記念大会開催のお知らせ

(公社)プレストレストコンクリート工学会は「第28回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム―設立60周年記念大会」を令和元年11月7日と8日の2日間にわたって名古屋市中村区の愛知県産業労働センター(ウインクあいち)で開催します。

本シンポジウムは学術・技術に関する価値ある情報を講演者と参加者が共有し、PC技術をさらに発展させることを目的としています。

当日は特別講演会、一般学術講演会、企業などの技術展示などが行われ、わが国のPCの最新情報を得る絶好の機会となります。





▲ PC構造物のパネル展示

【関西支部】
土木遺産展—関西の橋梁めぐり

平成31年3月16日〜令和元年5月12日に大阪府狭山市の府立狭山池博物館で平成30年度春季企画展「土木遺産展—関西の橋梁めぐり」が催されました。これは関西の橋梁を中心に、その構造や技術を図面や写真でわかりやすく展示、解説した企画展です。PC建協も企画協力し、その一環でPC構造物のパネルを展示しました。また4月20日には「過去から現在、そして未来へ！つなぐ橋」と題した特別講演会を行い、さらに4月27日と28日の連休にはPRブースを出展しました。

開通情報

(東北支部)

三陸沿岸道路(釜石北IC〜大槌IC)開通

令和元年6月2日に三陸沿岸道路の釜石北IC〜大槌IC(延長4・

8km)が開通しました。これにより宮城県気仙沼市〜岩手県宮古市間(唐桑南IC〜宮古中央IC、延長106km)が復興道路でつながりました。

(中国支部)

鳥取西道路(鳥取西IC〜青谷IC)開通

令和元年5月12日に鳥取県の山陰自動車道鳥取西道路の鳥取西IC〜青谷IC間(延長17・5km)が暫定2



▲ 鳥取西道路 テープカット

車線で開通しました。今回の開通で鳥取西道路(延長19・3km)が全線開通し、鳥取市〜米子市間が現状より約15分短い約95分で結ばれました。

(九州支部)

耶馬溪道路山移4号橋完成

福岡県中津市の中津日田道路の耶馬溪道路山移4号橋(延長176m)の橋梁本体工事がこのほど完成し、この記念イベントとして令和元年5月25日に地元の中津北高校書道部が書道パフォーマンスを行いました。

今回の橋梁を含む耶馬溪道路の開通は、令和2年度の予定です。



▲ 高校生による揮毫

《その他》

- 福井県あわら市道石塚橋(北疋田)〜古屋石塚
- 長崎自動車道四車線化(長崎芒塚IC〜長崎多良見IC)

編集委員会

柳橋 則夫(編集委員長)、 樫福 浄(副委員長)、
高松 正伸(副委員長)、 湯山 芳夫、 大信田 秀治、 鈴木 裕二、
吉山 誠之、 石井 一生、 竹本 伸一、 松嶋 憲昭

編集幹事会

久我 誠志(幹事長)、 小谷 仁(副幹事長)、 荒畑 智志(副幹事長)、
小出 武、 栗川 修、 関口 豪賢、 大谷 圭介、 杉村 卓也、 木下 拓三、 石樽 修、
岡本 修一、 直井 秀市、 上田 孝明、 瀬戸 裕一郎、 岩崎 麻美、 坂田 貴俊

編集後記

今回の取材では、世界遺産にも指定された知床半島を含め、新緑まぶしい北海道の道東地方を訪れました。どこまでも続く直線道路、一面に広がるジャガイモや小麦の畑など北海道ならではの風景を堪能しました。阿寒湖の散策中には、鹿の親子に遭遇し、自然の豊かさを感じることができました。ウトロの人工地盤では、見学スペースからのぞき込むと、魚が漁船から水揚げされる様子を見ることができました。また、人工地盤上の広いスペースでは、クレーンを使いながら何人もの漁師さんが大きな定置網を整備している様子を見ることができ、PC構造物が地域の生活に根付いていると感じました。

「PCのニューフェイスたち」では平成30年度に誕生したPC構造物の中から厳選した15作品を施工時のエピソードなどとともに紹介しています。新設の橋梁部門をはじめ、容器、建築、補修・補強部門や海外部門まで、幅広い分野で社会貢献するPC技術の魅力を少しでも伝えることができれば幸いです。

(直井)